

羽田空港
増便計画撤回を
求める



さいたま市の空の安全を守れ

国土交通省は、羽田空港の増便にともない都心やさいたま市上空を含む住宅地などを低空飛行する新ルート^{しんるーと}の運用を3月末から強行しようとしています。2月上旬から行われた実機による試験飛行を目撃した市民からは、低空飛行や騒音に不安の声が上がっています。

落下物や墜落の危険がルート下のどこでも生じる可能性があります。実機飛行を経て、着陸降下角が3.5度という急角度になることに対して、パイロットの業界団体も安全上の懸念を表明しているこの計画。住民のみなさんとともに力を合わせて撤回を求めています。

予算委員会



南消防署の建て替え実現を

南消防署に併設する六辻公民館にエレベーターを設置するための調査をしたところ、建築基準法上の強度が不足していることが判明し、エレベーター設置工事は中止されてしまいました。その関連で、予定されていた南消防署の大規模改修についても実施されないことになりました。

そして、予算委員会での質疑の中で、南消防署の建て替えについては計画がないということが示されました。建築基準法上の強度が不足している消防署で、大規模災害時の対応などが十分にできるのか、たいへん心配です。市で人口が最も多い南区で、消防署はこの南消防署と東浦和出張所だけです。緊急に消防署建設の計画が必要です。一刻も早い実現を求めて要望を続けます。

金子あきよが現場をあるく



藤右衛門川^{しゅんせつ}で浚渫^{しゅんせつ}が実施されました～浦和競馬場走路下



かねてから流域住民が、水害対策としても重要だとし、要望し、党市議団が長年求めてきた藤右衛門川競馬場走路下の川底の土砂をさらう浚渫^{しゅんせつ}がついに実現しました。市管理下の雨水幹線と、県管理下の河川が接続する地点（太田窪2丁目自治会館前）で、河川管理の責任が明確になっていなかったために、汚泥がそのままにされてきたものです。県と市による調整の中で浚渫^{しゅんせつ}工事の分担が決まり、1月から県の工事が実施されました(写真)。続いて、市の分担部分(走路外)で河床掘削が行われます。



しかし、下流の県管理下の河床が高いという逆勾配は解決されず、内水氾濫の原因ともなっています。今後も県、市に対して河川改修の要望を続けていきます。



住民要望にこたえ
カーブミラー設置

南区広ヶ谷戸に、隣接地の宅地化により拡幅され、交通量が激増した急な坂があります。近隣住民のみなさんからの「事故で死者も出ている。危険な箇所なので対策を」との要望を区に伝え、カーブミラーが2箇所設置されました。

日本共産党 さいたま市議会議員

金子 あきよ

＼お気軽にどうぞ／

無料生活相談 無料法律相談



金子あきよブログ



お問い合わせは 金子あきよ事務所まで TEL 048-881-2487

